

2025年度 学校関係者評価報告書

学校法人聖心学園 聖心学園幼稚園

1、本園の教育目標

カトリックの「愛の精神」を基本に、優しい心・思いやりの心・感謝する心を大切にする

具体的目標

- ・落ち着いて考える子ども
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども
- ・粘り強くやり抜く子ども

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・自然とのかかわりを深める。
畑やプランターでの栽培を楽しみながら、植物の生長について興味や関心を持つ。
園庭の草花を愛でたり、実を食べたりして身近な自然の移り変わりに気持ちを向ける。
- ・家庭と連携して絵本の面白さを味わう。
日々の読み聞かせを楽しみ、貸し出しや行事を通じて家庭にも絵本の豊かさを広げる

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	自然との関わりを通じた学びの充実	専門家の指導のもと作物の栽培を行い、生長を観察する活動を実施した。季節の草花や木の実に触れる機会を設け、自然への興味・関心を深めることができた。
2	絵本活動の充実	月間絵本と活動の基盤となる絵本を設定し、日常の読み聞かせや製作・遊びに取り入れた。絵本を通して想像力や表現する力を育むことができた。
3	家庭との連携の推進	親子貸し出しや選書会を実施し、保護者が絵本に関心を持てる機会を設けた。家庭との連携を図りながら、子どもの育ちを支える取り組みを進めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標と計画について、全教員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで自ら保育を振り返るばかりではなく、様々な課題を見出すことができた。今後もより良い園経営のために継続して実施していくことを共通理解した。

5、今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	家庭との連携	各家庭の状況に配慮し、連絡方法や面談の機会を工夫するなど、丁寧なコミュニケーションを図る。
2	絵本への興味の向上	園児・保護者・教職員が絵本に親しむ機会を充実させ、興味や関心をさらに広げ、深めていく。
3	職員研修の充実	園内外の研修に計画的かつ効率的に参加し、学びを共有することで保育の質の向上を図る。

6、学校関係者評価委員会の評価

2025年度 「学校関係者評価報告書」にあります、1.本園の教育目標 2.本年度重点に取り組む目標・計画 3.評価項目の達成及び取り組み状況 4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 5.今後取り組むべき課題などを踏まえ、保護者アンケート・ご意見・ご質問と回答から、本園が2025年度の幼児教育活動とその運営を適正に行っており、保護者・保育者共に協力して重点計画に散り組んでいる様子を窺うことができる。なかでも植物栽培を通じて自然環境への理解や学びがなされていることも特徴といえる。様々な工夫を通じて絵本に親しむことが実現している。さらなる職員研修を図り、質の高い幼児教育の実現を期待したい。

学校評価委員 榎本勝己

*今年度の重点的目標や計画は、先生方の努力、関わり方が発揮され、子ども達に反映されていたと思います。農園の栽培、年長三学期の発表会での絵本を基にした劇は良かったです。卒園式も成長を感じる場面でした。

*両親ともにお仕事をされている方が半数近くあり、子ども達からは、絵本を「読んで」との割合が多くありましたが、保護者の皆様たちの関りが半数以下で絵本、本を読む事があまり無かったのでしょうか、少し残念です。皆様に絵本の良さを伝えることができると良いと思いました。

*保護者の皆様から本当に高い評価を頂いているので、これからも教職員皆様が、年度目標に向かって日々過ごされますように、と思います。

学校評価委員 相馬たゑ子

重点的に取り組んでいらっしゃる「絵本の面白さを味わう」点が子どもたちに浸透しているようで、小学校の国語にもつながる良い取り組みだと思います。

保護者が幼稚園を信頼して安心して通わせているのが分かります。

挨拶がきちんとでき、自然を愛する子どもが育っている様子がうかがわれます。

また、保護者の質問に対して真摯に答えている点も、安心して子どもたちを預けられる幼稚園であることがうかがえます。

学校評価委員 松浦栄子